

2017年7月12日

ハイエンド製品取出口ロボット

「FRA」シリーズを発売

● ユーシン精機 ●

プラスチック射出成形品取出口ロボット専門メーカーの（株）ユーシン精機（社長／小谷眞由美、本社／京都市、資本金／19億8566万円）はこのほど、新開発の振動制御技術を搭載したハイエンド製品取出口ロボット「FRA」シリーズ3機種を開発、7月12日から販売を開始する。

今回の「FRA」シリーズは、対象成形機型締力50～150tf（トン）に対応の「FRA-0515」、同150～300tf対応の「FRA-1530」、同300～600tf対応の「FRA-3060」の3機種をラインナップすることで、お客様の幅広い要望に応える。

新商品の特長

プラスチック射出成形業界において、「高速性」と「簡単さ」を追求し続けてきた当社が、あらゆる細部にわたり一から設計を見直し具現化した取出口ロボットで、プラスチック射出成形業界の発展に寄与します。

1. 新振動制御機能

プラスチック射出成形の生産性を左右する成形サイクルタイムの短縮や、インサート成形をはじめとする高精度成形に、不可欠な振動低減に対して独自の「アクティブ振動制御機能」を搭載することで、様々な条件下でも高い制振性を発揮することが可能。

2. 新型コントローラ

1996年に業界で初めて「タッチパネル式コントローラ」を標準搭載したユーシン精機が推し進めている「簡単さ」を更に進化させた「E-touch V」。縦型画面を採用しメインとサブの上下2画面で多くの情報を同時に解りやすく伝えることにより、段取り時間の短縮を実現。

3. IoT

生産性や成形品質の向上に不可欠な情報の見える化、取出口ロボットのトラブル予防などに有効な IoT サービス。導入や利用料金のハードルの高さを感じることなく、取出口ロボットを設置したその日から、誰でもすぐに利用できる「簡単・手軽さ」を追求した独自の IoT サービス「Intu Line」。

4. 国際安全規格対応

安全回路の冗長化や安全速度監視などの搭載により各種国際安全規格に対応する安全レベルを世界最高水準で実現。「高速」かつ誰でも扱える「簡単さ」を目指してきた当社が、ロボットを安全に利用していただくため業界に先駆けて「安全」を提案。

価格は本体価格（消費税別）で、「FRA-0515」が 430 万円、「FRA-1530」が 450 万円。「FRA-3060」が 500 万円。販売目標は、年間約 500 台を見込んでいる。

【補足】

※アクティブ振動制御

ロボットに搭載したセンサなどからの信号をもとに、能動的（アクティブ：Active）に振動を打ち消す制御技術。振動を受動的に吸収し制振する技術に比べて高い効果が得られる。

※IoT（Internet of Things）

ロボットやセンサといった「モノ」がインターネットに接続されること。製造にかかわる情報をデジタル化しインターネットに接続、データ活用する。インダストリー4.0（Industrie4.0：ドイツ）、インダストリアルインターネット（Industrial Internet：アメリカ）に用いられている基本的な概念。

※「Intu Line」

Intuitive（直感的に簡単に）に使えることを目指してネーミング。

（お問合せ先）

株式会社ユーシン精機

事業推進企画室 江副（えぞえ）

TEL：075-925-0400